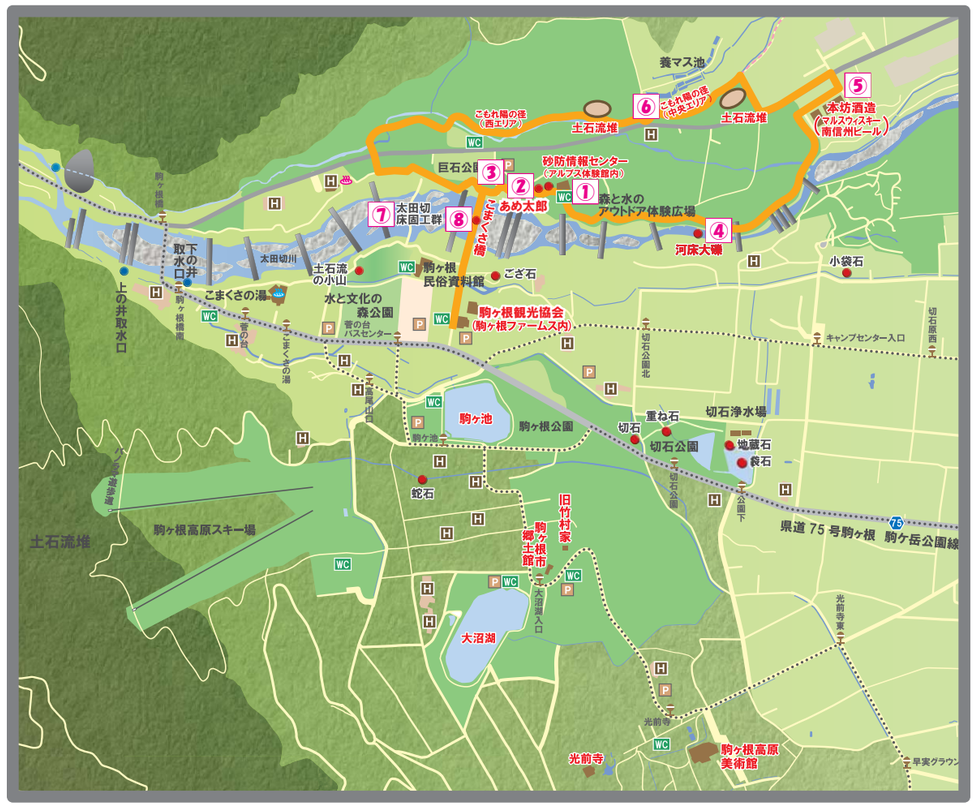
自然と人がおりなす青空博物館
駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム

コースのご案内 こもれ陽コース

「およそ１～２時間で歩けるコースです。林に囲まれた黒川沿いの遊歩道を歩けば、心も体もスッキリ。コース途中の「本坊酒造」は工場見学ができます。



①砂防情報センター

いざ出発！

②あめ太郎

あめ太郎では、10～180mmの６段階の雨を軽乗用車に乗る形で濡れずに体験することができます。

③太古の扇状地面

巨石公園の対岸高さ40～50mのところに薄っすらと稜線が見えます。
これはおよそ２万年前の扇状地面と考えられています。

④河床大礫（かしょうだいれき）

「河床大礫」は、およそ60平方メートル（縦5×横4×高さ3m）、重さおよそ160トンもある大きな木曽駒花崗岩です。
これはおよそ2万年前の土石流によって運ばれたものと言われています。当初は「太古の扇状地面」と同じ高さほどにあったと思われますが、扇状地が太田切川の浸食作用によって深く掘り込まれ今の位置にあるのだと思われます。

⑤本坊酒造

駒ヶ根高原の名産を味わってみてください

「本坊酒造」ではマルスウィスキーやワインなどがつくられており、工場見学（約30分）ができます。また「南信州ビール駒ヶ岳醸造所」も併設されており、これらの試飲もできます。

⑥こもれ陽の径（びみち）

こもれ陽の径は、こまくさ橋から宮田村ふれあい広場までの黒川に沿った総延長1.7ｋｍの遊歩道です。
太田切川はこれまでに度々土石流などを引き起こしてきました。今では心地よい散策道にも、かつて発生した土石流の跡を見ることができます。

こもれ陽の径マップ

⑦太田切川床固工群（とこがためこうぐん）

川底が削られて下流に堆積すると洪水の原因になります。床固工は、これらを防ぐためにつくられた施設です。魚が遡上できるように、魚道も付けられています。

⑧こまくさ橋

こまくさ橋は全長146mの吊り橋で、夜間にはライトアップされます。橋の上からの中央アルプスと太田切川の眺めはとてもキレイです。

GOAL!!